

# 奨励賞

## ○設計者

# 安齋好太郎

●福島県建築士会  
●(株) Life style工房 安齋建設工業



## ○戸建住宅 (専用)

# CAVE (ケイブ)

●福島県二本松市

## ▶▶▶ 選評

福島県中央部の穏やかな山間に建つ住宅である。敷地は北から南に向かって緩やかに上る沢の西斜面にあり、東南面には水田とその向こうの斜面には雑木林が広がっている。この住宅は約12m×10mの単純な平面で、現在は休耕地となっている緩やかな南斜面に半分埋まるように配置されている。土に埋まった部分はRC造、上部構造は木造で、屋根は緩やかな斜面の勾配に揃えられ、防水・防腐・防虫加工した間伐材で葺かれている。外壁には断熱した下地の外側に地業工事で出た粘性のある土を固めた日干しレンガを積んでいる。室内は、水回り、台所、和室が閉じている以外はほぼ一室空間である。室内に柱は立てず、2列の合わせ梁を細かく架け渡すことによって、開放的な空間を確保し、家具で仕切ることによってフレキシブルな生活空間を演出している。居間に座ると、水平に伸びる深い軒によって切り取られた景色が素晴らしい。基礎底盤下全面に集熱パイプを打ち込み、これに水を通すことによってヒートポンプの熱源として利用し床暖房を行っている。さらに地下水利用の屋根散水も試みている。

外部に露出した木造の軒と屋根の耐候性、短い庇下の日干しレンガの外装の耐候性、やや中途半端な室内の構造と仕上げなど、未完成な部分が散見されるとはいえ、自然材料を活かしながら、敷地のコンテクストに馴染んだ住宅をつくらうとするヴィジョンは、これからの住宅のあり方のひとつの方向性を示していると言ってよいだろう。

(難波和彦)



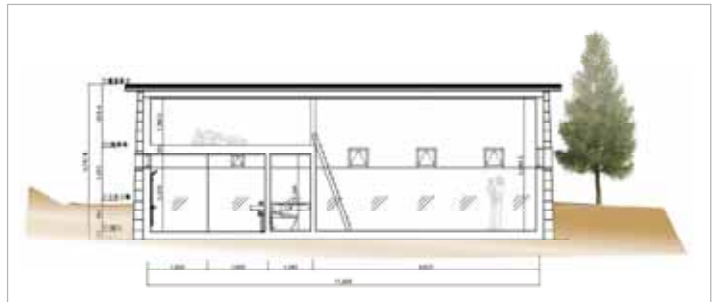
A



西断面図



東断面図



南断面図

- A: 窓の向こうには水田と雑木林が広がる。軒下には石を入れた池を設置。地下からポンプで汲み上げた水が屋根を伝って窓の向かいに流れる仕掛けを設けており、冷涼の効果が期待できる。屋根・天井の構造はラーメン構造で、空間を広くスッキリ見せる。戸袋に窓を納めることが可能
- B: 正面外観。建物は緩やかな斜面に半分埋まっている。屋根にはエステック処理を施し、防虫・防腐効果を持たせた間伐材を使用している
- C: 外壁の日干しレンガの材料は現場で出た土を使い、約3,000個をつくった
- D: 室内は将来にわたって変化できる多目的スペース。右手のドーナツハウスは段ボール製。床は敷地の土を使ったフラットな土間仕上げとしている
- E: 玄関と室内をつなぐ廊下
- F: 和室。土地の傾斜に合わせて、土に埋まっている部分はコンクリート仕上げとしている



B

- 構造・階数：木造、地上1階建て
- 敷地面積：447.07㎡
- 建築面積：114.25㎡
- 延床面積：114.25㎡
- 竣工：平成24年9月12日

写真撮影：阿部 治 / Life Photo Works



C



D



配置図



E



F